



## 令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について

毎年、小学校6年生を対象に行われている「全国学力・学習状況調査」は、子どもたちの学力や学習状況を把握し、その後の指導の充実、学習状況の改善等に役立てるためのものです。

今年度の萑山小学校の調査結果と分析がまとまりましたので、概要をお知らせします。国語の平均正答率は、静岡県比、全国比ともにほぼ同じでした。算数の平均正答率も、静岡県比、全国比ともに、ほぼ同じとなりました。理科の平均正答率は、静岡県比、全国比ともに上回りました。

### 【平均正答率の比較 (%)】

	国語	算数	理科
静岡県比	—	—	○
全国比	—	—	○

○・・・上回っている  
—・・・ほぼ同じ  
△・・・下回っている

### 【領域別・平均正答率の比較 (%)】

国語	県比	全国比
話す・聞く	△	—
書く	△	—
読む	—	—
言語	○	○

算数	県比	全国比
数と計算	—	—
図形	△	△
変化と関係	○	—
データの活用	△	△

理科	県比	全国比
エネルギー	○	○
粒子	○	○
生命	○	—
地球	○	○

### 【萑山小の6年生がよくできていた問題】

#### 【国語】

- 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える問題
- 漢字を文の中で正しく使う問題
- 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く問題

#### 【算数】

- 2つの数の最小公倍数を求める問題
- 示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察する問題
- 百分率で表された割合と基準量から、比較量を求める問題

#### 【理科】

- 一定量の液体の体積を適切にはかり取る器具の名称を答える問題
- 自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討する問題
- 水は水蒸気に空気中に含まれていることを答える問題

国語では、「言語」にかかわる力が身につけてきています。

算数では、「変化と関係」の領域ができていました。百分率や比例の関係から、比較量を正しくもとめることができました。

理科では「粒子」の領域で、器具の名称や実験の進め方についての理解が高かったです。

## 【菫山小6年生がやや苦手としていた問題】

### 【国語】

- 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える問題
- 人物像や物語の全体像を具体的に想像する問題

### 【算数】

- 示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を答える問題
- 百分率で表された割合を分数で表す問題
- 図形を構成する要素に着目して、長方形の意味の意味や性質、構成の仕方について答える問題

### 【理科】

- 実験器具の正しい使い方を答える問題
- 観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈する問題
- 予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想する問題

3つの教科で共通して、記述式で解答する問題が苦手であることがうかがえます。これは、6年生に限ったことではないと思われます。各教科の授業においては、自分の考えを整理し、きちんと言葉で伝えることを意識して学習していきます。

また、正答数をグラフにしたところ、二極化の傾向が見られました。タブレット等のICT機器の活用により、それぞれの力に合った問題を解く時間を設けるなどの授業改善に取り組み、二極化の解消を目指していきたいと思えます。



## 【菫山小6年生の学習状況調査における表れ】

### 【よい表れ】

- ・朝食を毎日食べている。
- ・今住んでいる地域の行事に参加している。
- ・授業中、PC・タブレットなどのICT機器をよく活用している。

### 【課題となる表れ】

- ・将来の夢や目標を持っている。
- ・人が困っているときは、進んで助けている。

○「朝食を毎朝食べている」と回答した子どもが多く、とてもよいことだと感じました。起床時刻も毎日同じくらいという回答が多く、基本的な生活習慣がきちんと身につけています。

○「地域の行事に参加している」の回答も比較的多く、子どもたちが地域の中で体験的に学んでいることが分かりました。また、授業中のICT機器の活用について、よく使っているとの回答が多く、授業中学級の友達の考えを知ることによってさらに自分の考えを深めていく協働的な学びができていることが分かりました。

●「将来の夢や目標を持っている」と回答した子どもが少なかったです。夢や希望を持つことで、毎日がんばろうという意欲が高まります。学校生活の中で行事等に目標を持って取り組む経験やキャリア教育の中で自らの夢や希望についてどうすれば実現できるかを考える時間を設けることによって、自分の夢や目標に目を向けられるようにしていきます。